（別添資料１）

事業所名　ホップスアカデミー

# 支援プログラム

作成日　2025 年　2 月　1 日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | 「すべての人の行動を支え、健康と笑顔に導く」 | | | |
| 支援方針 | 「できた」「やってみたい」という経験を通して自己肯定感を高め、自発的に取り組めるように導き、将来の自立を目指します。 | | | |
| 営業時間 | （平日・土）9 時 30 分から 18 時 30 分まで | | 送迎実施の有無 | あり　(なし) |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ○登所時の体調確認(家族からの聞き取りも行う)<br>○生活の様子の共有(家族から生活習慣や変化等聞き取りを行う)<br>○トイレ・手洗いへの誘導(入室後支援員が声掛け・確認)<br>○衣類の着脱、水筒や衣類の整理整頓(活動前に支援員が声を掛け見守りの中行う) | | |
| | 運動・感覚 | ○施設内で活動内容に合わせた部屋選び<br>○専門職が運動動作に必要な筋力の維持・強化の活動を設定<br>○感覚(視覚・聴覚・触覚等)を遊びの中に十分取り入れた活動<br>○感覚の特性(過敏や鈍麻)を踏まえた環境設定 | | |
| | 認知・行動 | ○活動の中や会話で、数の概念(日にち・誕生日・年齢・学年)の習得<br>○個人に合わせた活動の中で、形・色・音・時間などの形成を図れるような支援<br>○小さな器具に限らず大きな運動器具にも触れていくことで、大きさ・重さ・数量・色などの違い等を習得 | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ○支援員と会話や遊びを通して信頼関係を築き、気持ちを伝える・受け取る・理解することの習得を支援<br>○読み書き向上を目指し、個人に合わせた活動内容・活動場所の提供<br>○多様なコミュニケーション手段を活用し、意思の伝達ができるよう支援 | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ○当施設が家庭や学校・園ではない場所での居場所となり、安心して他者(支援員・友達)と関わり信頼関係を築けるような支援<br>○運動活動の中で模倣遊びを取り入れ、対人関係や社会性の芽生えを支援<br>○感覚機能を使った見立て遊びやごっこ遊び等を通して社会性の習得<br>○共同遊びを行い、ルールがある遊びを経験する中で社会性の発達を支援 | | |
| 家族支援 | ○相談事や生活の中での困り事に対して解決の方向に向かっていけるよう、まずは気持ちを受け止め、助言や一緒に考えることを行い信頼関係を築いていきます。<br>○家庭行事、学校行事・園行事などの催しの様子の聞き取りを行い、一緒に喜び、感動を共有していきます。 | | 移行支援 | 移行支援の必要に応じた対応を行っていきます。 |
| 地域支援・地域連携 | 必要に応じて、個人情報の配慮の中で、園・学校・地域との連携を取っていけるように体制を整えて行きます。 | | 職員の質の向上 | 事業所内（月１回）研修を実施。外部の研修に参加。<br>事業所内での会議、勉強会を行い、知識、技能向上を目指します。 |
| 主な行事等 | 季節や時期に応じて製作やレッスン内容等で雰囲気づくりをし、取り組んでいきます。 | | | |